

佐賀県知事 様

住 所 佐賀市木原三丁目 12-1
団 体 名 北川副小学校運営協議会
代表者職・氏名 会長 豊田 英二

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和2年10月30日付け県協第1451号により寄附金交付決定通知のあった佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 活用実績報告書（様式第6号 別紙1）
- 2 収支決算書（様式第6号 別紙2）

年度寄附金活用実績報告書

事業名	こどもおなか一杯便事業
寄附受入額	1,000,000円
事業内容(いつ、どこで、誰が、何を、どのように実施したのかについて記載)	
<p>北川副小学校に子どもを通わせる世帯で、就学援助等を受給している生活が困難な家庭に2か月に1回(偶数月)の第三土曜日に食料品10キロ程度を北川副小学校のコミュニティルームで、活動に賛同いただいていた地域の方といっしょに梱包作業、依頼した運送事業者が配送し、登録家庭届ける。</p> <p>また、北川副小学校で実践されているユニバーサルデザイン教育を保護者・地域への浸透に努めることを目的として学習会を開催する。</p> <p>令和2年度の実績について</p> <p>① 支援希望者の募集 前年度の利用者に継続調査及び新1年生の世帯に学校を通じてこどもおなか一杯便の募集チラシを配布し、希望者を募集した。</p> <p>② 令和2年度の配送月 4月、6月、8月、10月、12月、2月の計6回</p> <p>③ 配送した世帯数 4月 14世帯 6～2月 20世帯 延べ114世帯</p> <p>④食料品等の手配 食料品は、校区内のスーパー(栄玉)及び菓子メーカー(大坪製菓)から購入 NPO(おてらおやつクラブ)からのお菓子等お供え物の寄付 こども宅食応援団を通じた他自治体のふるさと納税「きふと」による食品の寄付 フードバンクさがからの食品提供 校区内の日枝神社からのお米の寄附</p> <p>⑤ 食料の配送 支援を希望される方の心情を考慮し、運送事業者(ココネット)による配送を依頼</p> <p>⑥ こども宅食応援団との連携 こども宅食応援団から資金やノウハウの援助を受けるとともに更に連携を深める。 今年度は、登録・連絡用としてLINEの活用方法の情報提供</p> <p>⑦ 北川副小学校ユニバーサルデザイン教育学習会の開催 令和2年12月5日(土)午後からにユニバーサルデザイン教育学習会を北川副小学校体育館で開催予定していたが、コロナウイルス感染症の感染拡大のため中止</p>	
事業実施の成果・効果(見込み)	

こどもおなか一杯便を実施し、地域の各種団体（自治会、民生・児童委員会、PTA）から援助・協力を得ながら、地域で孤立しがちな困窮家庭に手を差し伸べ、地域全体で困っている子どもたちを支援するという機運を醸成することができた。

また、コロナ禍で休校により在宅が増え、厳しい食糧事情の援助となったことがメールでの感想で伺えた。

保護者や元PTA役員にも梱包・配送作業に参加してもらい、将来の支援活動の後継者の育成に努ることができた。

今後もこども宅食応援団等との連携により、事業の運営方法に対する助言や助成金・物資の支援を受けることができたことで支援者の満足度が上がった。（中身に対する感想が増えた）

(様式第6号 別紙2)

収 支 決 算 書

事業名		こどもおなか一杯便事業	
区 分		決算額 (円)	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	1,000,000	
	助成金	610,000	こども宅食応援団、(社)RCF
	寄付金	68,630	(株)戸上電機、おてらおやつクラブ
	事業収入	22,500	講師謝金
	預金利子	8	
	前年度繰越金	1,904,222	
	収入 計	3,605,360	
支 出	配送用食料品	467,400	
	食品配送費	75,240	
	消耗品費	598,022	配送用消耗品、マスク、図書券
	通信料	13,490	切手
	委託料	493,131	事務委託
	返礼品等の調達に係る費用	234,850	
	返礼品等の送付に係る費用	78,758	
	広報に係る費用	82,270	チラシ・封筒印刷費、切手代
	事務に係る費用	2,740	振込手数料
次年度繰越金	1,559,459		
支出 計	3,605,360		

○支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。

経理上の区分名で記載して構いません。

○領収書等は事業終了後5年間保存してください。